

東京都個人タクシー協会

会報

乗って安心個人タクシー



12月号 平成23年

第19回個人タクシー利用者懇談会

お客様の立場から厳しい指摘が続々

11月2日(水)午後2時より、アルカディア市ヶ谷において「第19回個人タクシー利用者懇談会」が開催されました。木村会長の挨拶と、新たなアドバイザーへの委嘱状交付に続き、前田専務理事から業界の現状について説明がありました。続いて行われた質疑応答では、アドバイザーからの厳しい意見が相次ぎました。

質疑応答

「ドライバーの高齢化対策」

小島 強さん

(株富士通システムソリューションズ)

ドライバーの高齢化が不安

横須賀線で事故があったが、ドライバーの高齢化が心配だ。75歳定年でいいのか、そこも含めてきちんと対応願いたい。

横山副会長 定年年齢は通達なので私たちが変えることはできないが、高齢下



木村会長より、アドバイザーの皆さんへ質疑の説明がありました

院でも、歩行困難な人が玄関から離れたところで降ろされるのを見たことがある。

戸田亜沙美さん

(財)東京タクシーセンター利用者モニター

高齢者を傷つける言葉

祖母が通院で個人タクシーを利用したとき、ドライバーに「そんなに年でもないのに、家でドラダラしているから具合が悪くなる」と言われて傷ついた。また、祖母が老人だからか遠回りもされたようだ。

木村会長 意識改革が進んでいないことを申し訳なく思う。そういう場合は、「もう個人タクシーに乗らない」ではなく、ぜひ「お客様ご要望カード」をご利用いただきたい。協会にそういう声が上がって来ることが大事。

「接客マナーの悪さ」

大塚久江さん

(財)東京タクシーセンター利用者モニター

客の指示を聞かない

道順を指示しても、ドライバーは「私はベテランだから」と言っていて聞こうとしない。不愉快だったので、以後、個人タクシーは避けるようにしている。

たった1人の印象で全体が悪く見えてしまう。今回改めて見直すことができたいと思います。出席させていただいた。

宮原恵子さん

(東京都地域婦人団体連盟)

心づかいがない

行き先を告げたが返事がなく、目的の場所から離れた大通りで降ろされた。病

その他のご意見・ご要望など

●ドライバーが救急救命措置をとれたり、車にAEDを装備したりしていれば、個人タクシーの信頼感が増し、それが売りになるのではないかと

都内個人タクシーの現況 (平成23年11月1日現在)

許可事業者数	16,439名	(前月比-59名)		
(特別区、武三)	15,964名	北多摩184名	南多摩291名	
傘下事業者数	16,213名	(前月比-57名)		
(特別区、武三)	15,741名	北多摩183名	南多摩289名	

第5回 理事会の 焦点

JR横須賀線転落事故

■開催日時 / 11月25日(金) 午後1時 場所 / 日個連会館
■議題 ①平成23年度上期事業報告並びに決算報告に関する件 ②健康管理啓蒙ポスターの作成に関する件 ③平成24年新年賀詞交歓会等のスケジュール並びに来賓者(案)に関する件

理事會に先立ち、出席者に対して、木村會長から以下のような談話がありました。

事故によつて個人タクシーのさまざまな問題が明らかに

10月24日、JR横須賀線での事故は、個人タクシーだけでなく、タクシー業界全体の安全に対する信頼を損ねてしまいました。またこの事故は、安全の問題だけでなく、業界の高齢化や健康管理の問題にまで波及しています。そこで東個協では、12月から1月にかけて、4回に分けて全体集會を行うことにしました。



「特定事業計画の実行の徹底を！」と話す木村會長

では、高齢化・健康管理はもちろん、最大の問題になっている不適正営業の問題なども取り上げていく予定です。
11月2日に行われた利用者懇談会でも、厳しい意見が相次ぎました。この事故については、「ブレーキとアクセルの踏み間違い」となると、「ど素人のやること」と言われて返す言葉もなく、情けない思いをしました。また「73歳のお年寄りが運転しているのですか?」と驚くアドバイザもおられました。たしかに世間一般では、73歳は「お年寄り」に違いありません。私たちが、仲間うちの常識にとっぷりつかっていると、社会との意識の距離はますます開いていくでしょう。利用

そしてこの不幸な事故を、何とか個人タクシーの再生につなげるよう、活かしていきたいと考えています。

さらに11月1日には、全個協から通達を出し、お客様を降ろすときはフットブレーキだけでなく駐車ブレーキを作動させるとともにシフトレバーをパーキングに入れてから釣り銭のやりとりを行う...などの、基本動作の実行を改めて呼びかけました。また高齢化・健康管理については、構造改善計画の検討協議会で、有識者の間でも強い懸念があった問題です。それを受けて、全個協でも取り組みを始めようとしている矢先の事故でした。

者の目線に立つて、謙虚な気持ちでそういった声を受けとめていく必要があると思います。
次々と押し寄せる「困難」を防ぐのは我々の「資質」にかかっている

国土交通省による譲渡譲受認可試験の、回数が増減される件について、11月18日に本省通達が出ました。試験は原則年1回、継続15年のハイ・タク運転者は地理試験免除などの「原則」は明らかになりましたが、例えば東京の試験回数は何回なのか、といった具体的な部分がまだ明らかでないのが現状です。どちらにしても、私たちは現状維持をお願いします

る立場であり、そのためには、お願いを聞いていただくための背景とか、私たち自身の社会的な存在価値が求められます。

業界を押しつぶそうとする困難が次々と降りかかっている現状です。それを防ぐためには、私たち自身の「資質」の積み上げが必要なのです。そのためにできることとして、まず期限が来年9月に迫った特定事業計画の実行を徹底していきたいと思えます。個人タクシーの1万6千人の事業者が社会に約束したことです。ワンフリーズキャンペーン、ちょっとそこまで。はい。どうぞステッカー...等の内容をきちんと実行して、私たちの資質向上を社会にアピールしていきましょう。

平成23年度上半期苦情・要望等集計報告書(当協会受付分)

苦情・要望の合計件数が昨年よりも減り、接客態度不良がきわ立つ結果に

上半期苦情・要望等集計報告書 (平成23年5月1日～平成23年10月31日)

Table with 4 columns: 内容別, 申告事案(前年), 匿名事案(前年), 合計(前年). Rows include categories like 接客態度不良, 言葉使い, 地理不案内, etc.

【苦情対象事業者の年齢構成】

Table with 3 columns: 事業者数, 件数, 比率. Rows show age groups from 40歳未満 to 75歳以上.

※ 1 申告に複数の対象事業者あり。

【感謝】 3件

平成23年自動車関係功労者大臣表彰

個人タクシーの信頼回復を胸に4名が受賞

10月28日(金)午前11時より、国土交通省10階共用大会議室において、平成23年自動車関係功労者大臣表彰が行われました。個人タクシー業界への逆風厳しい状況の中で、晴れの受賞を果たした4名の喜びの声を紹介します。

あせらない・譲る気持ちで50年

加藤邦男さん

(東個協・杉並支部)



モットーは「あせらない・譲る気持ち」。急ぎのお客様も「安全第一です」と言えばわかってくれます。健康管理に気を配ってくれた家内が3年前に他界し、今日こへ来られなかったのが心残りですが、東京オリンピックの年に始めて、あと2、3年で50年。そこまではこの仕事を続けようと思っています。

尊敬する先輩の背中を見てきた

西 征四郎さん

(東個協・北支部)



法人時代、尊敬する2人の先輩がいました。1人はまだ現役のタクシードライバーです。その先輩に追いつこうと努力してきたからこそ、家内ともども元気で、ここまでこられたと感謝しています。年も年ですので譲渡譲受も現実に考えていますが、このまま無事故で、次の人にバトンタッチできるよう努めます。

小さな事故を教訓に無事故を意識

小林邦義さん

(東個協・練馬支部)



40年前、タクシーのハンドルを握って3カ月くらい

マイペースで行けるようになるまで…

齊藤正利さん

(東個協・南多摩支部)



安全運転で特に心がけていることはありません。ただ、あまりスピードは

出さない、割り込まない…と、マイペースでやってきました。70歳を過ぎていろいろな反応も衰え、そろそろ先が見えてきたとは思いますが、この年まで働けるだけでも幸せなこと。これからも無事故で、いけるところまでいこうと思っています。

「正しい交通ルールを」と鈴木交通部長



交差点での巻き込み事故の再現が行われました

自転車マナーアップ教室

11月27日(日)午前11時半から、皇居前二重橋交差点において、TOKYO交通安全キャンペーン「自転車マナーアップ」教室が行われ、当協会からは、横山副会長はじめ、安全対策委員が参加しました。自転車通行のルールを学ぶ教室やスタントマンによる交通事故の再現があり、交通マナーや安全への意識を再確認しました。

自転車マナーの啓蒙活動

当協会では、自転車事故防止PRのため、下記のポケットティッシュを2万個作成し、団体役員および協力いただいた事業者により、個人タクシー車内で配布する取り組みをしました。

自転車交通事故に注意

市内では、通勤通学時間帯における20歳から30歳代の方の交差点での出会い頭の事故が多く発生しています。

自転車ルールの基本

- 自転車は車道が原則、左側通行
- 歩道は歩行者優先、車道寄りを徐行

やさしさが 走るこの街 この道徳

警視庁交通部・(社)東京都個人タクシー協会

訃報 *10月

氏名	所属団体	享年	病名
栗原勝司	(東個協・葛飾第二)	73歳	事故死
花城安利	(東個協・武三)	56歳	リンパ腫
梅原 勲	(東個協・墨東)	70歳	心筋梗塞
今井 忠	(東個協・城南)	71歳	不明
北尾 貢	(都営協・双和)	59歳	不明
仲山俊市	(都営協・板橋)	63歳	肺癌

ご冥福をお祈り申し上げます

江東区観光ドライブ 福島の避難者を支援

11月6日(日)江東区役所にて、福島から江東区に避難された76名の参加者を無料招待した東個協墨東支部主催の「江東区観光ドライブ」が開催されました。28台のタクシー車両に分乗し、1日ボランティアとして、下町「亀戸」、「深川」や東京スカイツリー、浅草雷門など充実した観光と心のこもった案内で、避難者の皆さんは楽しいひとときを過ごしました。

里神支部長から「江東区に避難されていると聞き、何かお役に立ちたいという思いで山崎区長に相談し実現しました。支部職員が出席の再確認をした際、小学校5年生の女の子が「観光ドライブを楽しみにしています」と話をしていたと聞いて、胸に込み上げるものがありました。今日は皆さんの気分転換になればと思います」と挨拶がありました。



出席し参加した支部員と開会式に出発した者の皆さん

笑顔で出発する参加者

感謝の手紙



日個連新興協組の板橋健司さんへの感謝の言葉

私は足が不自由で頻りにタクシーを利用していましたが、知人から「個人タクシーは近距離の女性に對して感じが悪い」と聞き、避けていました。今回は乗り場の順番だったので、我慢して乗りましたが、板橋タクシーは近距離にも関わらずとても親切で、私の足を配慮する言葉もかけていただき嬉しくなりました。今まで個人タクシーを避けてきましたが、考えを改めようと思います。

東個協板橋第一支部の進士邦利さんへの感謝の言葉

久しぶりに個人タクシーに乗りイメーজが変わりました。近い距離にも関わらず、丁寧な対応で気持ち良く利用させていただきました。プリウスなので環境にやさしく、とても快適な乗車時間でした。また乗りたいと思います。

個人タクシーを選ぶお客様が増えるように、親切丁寧な対応を心がけていきたいと思います。

地理モノタ一報告⑨

名称変更

旧名称	新名称	所在地	変更日
日比谷図書館	日比谷図書文化館	千代田区日比谷公園 1-4	平成23年11月

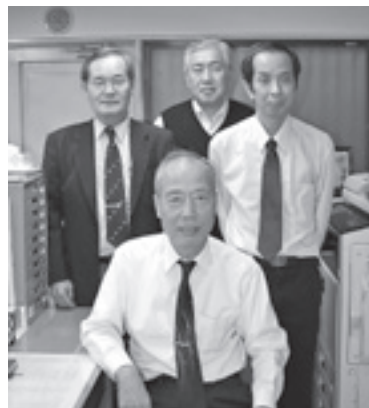
釘を打てない新しい事務所。アイデアマンの井上副支部長が、木材をうまく使って壁に、棚やフックを取り付けました



月刊の支部だより『情報』は、10月号で通巻487号。超ロングセラーです



創立47年の伝統ある支部を支える事務員のみなさん



1 列目、小林支部長
2 列目左から、井上副支部長、小杉副支部長
3 列目、本橋理事

なんでもトピックス

地域のおすすめスポットやクラブ活動、名物ドライバーなどなんでもご紹介

文豪にちなんだ緑豊かな公園

支部から徒歩数分のところにある「蘆花恒春園」は、明治大正期の文豪・徳富蘆花の住居跡とその周辺に造られた公園。緑濃い約8万㎡の広い園内は、近隣の子どもの格好の遊び場です。



東京ぐるり 支部紹介 ● 第38回 ●

東京都個人タクシー協同組合 世田谷第二支部 (所在地: 世田谷区千歳台)

長い歴史を貫くもの、支部員が共有して組織風土に

「事故や違反はお金がかかる。クレーム対応は時間がかかる。どちらにしても損をするのは自分」と、支部員に日頃から言っています」と小林支部長。支部はタクセンの特別優良表彰連続16年。「小さな支部ですから」と支部長は謙遜しますが、原動力が個々の事業者の努力であることは間違いありません。

同支部は今年9月に現事務所へ移転しましたが、旧事務所には47年間もお世話になりました。月刊の支部だより『情報』は40年以上も継続。「小さな支部ですから派閥がないのいいところ」と井上副支部長は言いますが、組織の大きさに関係なく、長い歴史を貫く1本の背骨が支部員に共有されて、好ましい風土を形づくってきたようです。